

# 福翁自傳（廿四）

福澤 謙吉 口述  
矢野 由次郎 編記

# 亞米利加

三

## 社説

中  
外  
來  
其時なりや否や先づ兌換制度の作用に直接の  
關係ある外國貿易の景氣を見ると本年七月以  
來輸入の超過は次第に減少の方に向ひたれど  
も先月の如き尚ほ五百萬圓に近き超過あり米  
國の經濟社會が戰爭の勢餘に乗じて年來の不  
景氣を恢復したればと生絲の如き同國に販  
路ある物品は大に輸出を増すの望あれども其  
他の輸出品に至ては一昨年來物價并に質銀の  
賸費したる爲めに大に生産費を増して海外に  
販路を失ひたるやの傾あれば單に生絲貿易の  
好景氣なるを見て直に本年中に輸出入の平均  
を求むるに至る可しと云ふが如き固より速頃  
に依て正貨の流出を防ぐを得るを以て日本銀  
行の正貨準備には格別の影響及ぼさる可  
けれども償金の回収高には自から制限ありて  
常に之に依頼する能はざるのみならず今日の  
如く財政の方針一定ならずして政府が今後如何なる處置に出でんとするや殆んど推測を下  
し難き場合には中央銀行が金利を上下するに  
當て殊に注意を要するものあり例へば十箇年度  
財政計画に據れば政府が今後豫算に織入る  
に依て正貨準備には中央銀行が金利と上下するに  
も其内には印度公債英國大藏省證券の如き直  
に市場に於て賣却するを得るもの少なからざ  
れば若しも増税の計畫にして好結果を奏せざ  
るとさば政府の都合にて別に公債を海外に裏  
集するまでもなく多額の償金を織入るゝの道  
金の過半は公債其他の有價證券に變じ居れど  
も其内には印度公債英國大藏省證券の如き直  
に就て確實なる見込を得るか或は財政の方針  
が判然したる時に於て始めて決定す可し問題  
にして今日一時の餘裕あるに乘じて安らに金  
利を引下さるゝあらんには折角債務者が切  
り離れるの如きを許さざる所なり

試入賞經